

# 古文書を読む会学習記録

作成日 平成27年 3月15日

|      |   |      |             |
|------|---|------|-------------|
| 開催日  | 平成27年 3月12日   | 時 間  | 10:00～12:00 |
| 場 所  | 金沢公会堂   | 出席人数 | 16名         |
| 講 師  | 真田雅行氏   | 作成者  | 深澤勝美        |
| テーマ  | 第一学習 永島家文書③ 異国船取押方日記③   |      |             |
| 概 要  | <p>1. 異国船大島沖に相見え等の風聞あり 能々(よくよく)聞いてみると東浦賀の者もよく分からず、そこで当地にて確かな事を聞いてみたがその様な様子は一切ないとの返事であった。よって拙者共は七々浦までは行かず当地に留まることとする。</p> <p>その談話中に大雨烈風になり高波にて船を海中に浮かべ置くこと難しく、押送り船にて三艘を坂田浦と波左間浦に避難させた。</p> <p>3月1日雨は止んだが風が強く高波にて乗船が難しく、浦賀与力 同心 通辞等へ面会して引取るかどうか尋ねた処、近藤殿の申すには白浜より同役引き取りに参るが日和次第では夜に入っても出帆してもよい。その時は沙汰をするので旅宿で待つこと。(その他森山通辞より雑談でオランダ、イギリス、琉球、蝦夷の最近の事情や洲の崎～白浜辺の海女についての面白い話があった。)</p> <p>2. 同7ツ半頃白浜御備場より注進あり、洲ノ崎会所より九十九里辺に異船三艘相見えたとのこと。すぐ浦賀衆旅宿へ出向き 近藤殿 中村殿に面会、届書の委細承った。</p> <p>「飛脚をもって申し上げ候 .昨夜 九十九里沖に異船三艘相見え候との報告あり、昼夜油断なく見守る様勝浦役所より申されたのでお伝え申し上げ候。」</p> <p>浦賀衆旅宿に参り如何様にしたら良いかお伺いした。与力近藤殿 同心組頭中村その外一同種々話し合いの結果、奉行衆にお伺書を出し置き、返書を待たず 明日乙濱か白子辺に出向し、場合に寄っては勝浦までも出向くという評議になった。</p> <p>拙者共も同様に出向することとした。</p> <p>ところで浦賀衆始め下総守より御出張の沢辺氏は横文字の書付を持参しているので異船に乗移ることが出来るが、拙者共は書付を持っていないので、お役所の方々にお願いするか、我々に渡すかいずれかにお願いした。</p> <p>浦賀衆評議にて異国船三艘を当国内に船掛(停船)致し置、三艘は日本人乗船に違ひなければ助命の恩義有り、厚くお手当するように通詞より諭し候様にする。</p> <p>外の二艘には水 薪等を与えここより早々立去るよう要求する。</p> <p>何事も浦賀衆と相談、隔無き様お願い申し候 (以上洲の崎会所より鴨居陣屋へ)</p> |      |             |
| 次回予定 | 平成24年3月26日 10:00～12:00 於:金沢区役所区民活動センター<br>第二学習 ジョン万次郎帰朝記事③  |      |             |